

新潟工業短期大学後援会誌 アルス 第68号

アルス(ARS)とはラテン語で、ARTの源である。つまり、熟練、技 術、学術、芸術、知識、学、原理…といったような意味をもつ。新潟工 業短期大学を設置する学校法人は新潟科学技術学園と称すが、 そこにいう 「技術」の源流はまさしくアルスに求められなけれ ばならない。本学は単なる技術屋の養成ではなく、技術と知 識と心が一体となって、アルスの領域にまで高められるそ ういった人間を生み出そうと指向している。



=ご挨拶=



新潟工業短期大学後援会 会長石黒 健一 (株式会社ニイガタ文具 代表取締役社長)

2024年も半年以上経過して、能登半島地震の被災地 もインフラの復旧等の事業が加速されているようです。 まだ避難生活や仮設住宅での暮らしが続いている被災 者の方々には、より早い時期での再建を願ってやみませ

一方、昨年の秋は久しぶりに自動車の祭典が大きく話 題になりました。昭和の高度成長期に開催の東京モー ターショーがジャパンモビリティショーと改称され、東京 ビッグサイトには多くの来場者で賑わったと報道されま 1.1-

電気自動車(EV)や自動運転車の普及などは100年に1 度の変革だそうです。EVに関する多くの展示物は時代の 趨勢なのでしょうが、無人自動車はともかく空飛ぶクルマ

となると、車に素人な私たちには想像を絶する乗り物としか思えません。

エンジン車からEVへの転換という「地殻変動」の中、学生の皆さんにはより一層勉学 に励んでいただき、新時代に相応したEVに強い知識を十分に吸収して自動車関連の 仕事に邁進して下さい。私たちの夢を超える乗り物の出現と、それに携われる技術者に 成長されることを期待しております。

新潟工業短期大学後援会は、学生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう支援 や行事に全力で取り組みをいたします。保護者の皆様、教職員の皆様、また後援会の主 旨に賛同される皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

=ご挨拶=



新潟工業短期大学後援会 顧問 佐藤 孝 (新潟工業短期大学学長)

私が学長を拝命してからは、「学生数が少なくなってき ている」ことを繰り返しご報告しているような気がしてお りますが、今年は留学生が戻ってきてくれたため、120名 の定員を超える140名の新入生を受け入れることができ ました。当たり前ですが、学生数が多くなると、教育面で も生活面でも、その指導に関して忙しくなり大変ではあり ますが、キャンパス内の学生の姿が増え、キャンパスの外 を歩いている時にも学生から「おはようございます。」な どと声を掛けられるのはうれしい限りです。日本では少 子化が進んでいますので、これからも留学生の受け入れ は進めていく必要がありますが、日本人学生からも本学 を選んでもらえるように、まずは日本人学生が活躍するバ スケットボール部のための環境整備を後援会の皆様のご

支援を頂いて進め、再びインカレでの1勝を目指しております。

自動車が発明されて以来、初めてといって良いほどの技術革新の波、脱炭素技術と自 動運転技術の波、が襲ってきている現在、基礎となるこれまでの技術に加えて、未来技 術にも対応した教育に努めておりますことをご報告してご挨拶とさせていただきます。

令和6年度後援会役員名簿(敬称略)

【役員】		
会 長	株式会社ニイガタ文具 代表取締役社長 石黒 健一	賛助会員
副会長	長島 貴之	父母会員
2年生 評議員	高橋 衛	父母会員
	長島 貴之	父母会員
1年生 評議員	井上 充弘	父母会員
	富沢 英太	父母会員
監事	株式会社文信堂書店 加藤 昭彦	賛助会員
	鈴木 真人	特別会員(本学教授)
幹事長	坂井 淳	特別会員(本学准教授)
幹事	川﨑 信隆	特別会員(本学講師)
	太田 卓馬	特別会員(事務部長)
【顧問】		
顧問	佐藤 孝	新潟工業短期大学長

MESSAGE

現在、世界の自動車業界は 『カーボンニュートラル』や 『CASE』と称される100年に一度 の大変革期を迎え、自動運転や EV (電気自動車) の開発が急速に 進んでいます。それに伴い、自動 車整備士の教育も進化しており、 令和9年からは、二級ガソリン自 動車整備士および二級ディーゼ ル自動車整備士の資格が『二級 自動車整備士(総合)』に変更さ れることになりました。

本学の特徴は、理論と実習の バランスが取れている点です。 理論を理解した上で実習に臨む ことで、習熟度が向上するだけで



自動車工業科 准教授 近藤克哉

なく、今後、ガソリンに代わってモーターを使用する車両が増 える時代にも対応する力が身につきます。基礎から学び、予 備知識が全くなくても安心して学べる環境を提供するため、引 き続きディーラー整備士としての経験を活かし、『分かりやすく シンプルにしをモットーに、学生たちとともに過ごしていきた いと考えています。

自動車工業科在学生及び保護者の皆様へ

2年生・自動車技術コースの皆さん

二級自動車整備士資格 合格にむけて

整備技術講習が始まりました

二級自動車整備士国家試験はガソリンとジーゼルそれぞれに学科試験と実技試験 があります。実技試験免除となる整備技術講習は、卒業見込みの方を対象に卒業の半 年前から行うため、後期授業開始前から始まり、ガソリンとジーゼルの2つが行われま す。今年度も後期の授業スタート前の9月17日から技術講習が始まりました。国家試験 対策の模試期間を含めると、3月21日迄の半年間となりますので、怪我や病気に十分注 意され、整備士資格を取得せずに就職することのないよう、後期は明確な目標を持って 取り組んでいただきたいと思います。

昨年度の整備技術講習修了率 ガソリン98.0% ジーゼル96.7% 国家試験(学科試験)の合格率 ガソリン98.0% ジーゼル100.0%

〈整備技術講習〉 **(登開玖剛時白/** ガソリン:9/17(火)~11/21(木) ジーゼル:11/22(金)~2/8(土)

〈国家試験学科試験対策 模試期間〉 ガソリン:1月上旬〜3/21(金) ジーゼル:2月上旬〜3/21(金) 〈国家試験(学科)〉

試験日:令和7年3月23日(日) (会場:新潟工業短期大学・2号棟)

電子制御関連の資格試験について

電子制御コースでは、エレベーターや自動ドア等のビル設備や、工場の生産ライン等の自動化設備で使われる電子制御装 置を、座学や実習で学び、そして2職種の技能検定を受検します。1つ目は自動装置を整備(保全)する機械保全技能検定 (電気系保全作業)で、前期と後期に実施、2つ目は制御装置をプログラムするシーケンス制御技能検定で、後期のみ実施さ れます。なお、後者は以前に電気機器組立て技能検定のシーケンス制御作業という区分でしたが、令和5年度から独立した区 分となりました。近年の労働者不足や DX 推進に対応したものであり、社会で必要とされている職種であることが伺えます。

試験結果の近況報告です。昨年度、機械保全技能検定では、前期の不合格者が後期に再挑戦して合格を勝ち取り、 100% の合格率を達成しました。また、シーケンス制御技能検定は残念ながら33%となりました。今年度の前期は、機械保 全技能検定は全国並みの 60%に留まりました。後期は、2つの技能検定の実技試験日程が重なる可能性があり、前期の不 合格者の再挑戦は慎重に行います。

後期の試験対策は 10 月から始まります。実技試 験の内容は装置の製作や修理であり、シンプルに「装 置が動作すれば合格」であるため大きな達成感が得 られます。前期の試験対策はいつも熱が入っていま した。後期も奮闘を期待しています。

令和5年度(通年)の資格取得率(受検者数に対する合格率)

・機械保全(電気系保全作業)・・・・100%(学科100%、実技100%) ・シーケンス制御技能検定(シーケンス制御作業)・・33%(学科100%、実技33%)

令和6年度・前期の資格取得率 (受検者数に対する合格率)

·機械保全技能検定(電気系保全作業)……60%(学科100%、実技60%)

1年生へ

進路確定にむけて

今年4月から本学の職員として就職支援室 に勤務しております大沢です。よろしくお願い いたします。さて、短期大学では、2年に進級す るとすぐに就職活動が本格化するため、今から 進路の目標を定め、意識を高めて自立する準 備を始めることが重要です。ここ数年の本学に おける進路確定は概ね順調に推移しておりま す。しかし、油断は禁物です。就職においては、 成績は勿論のこと、企業が求める『学生と社会 人の違い』、『あたりまえの常識』、『挨拶・礼儀・ 言葉づかい』が必要になります。日常生活にお けるアドバイスなど、保護者の皆様からのご協 力をお願いいたします。また、進学では、本学 には一級自動車整備士資格の取得が可能な2 年制の専攻科があります。資格取得には途切 れのない学習が効果的です。ぜひ、ご検討くだ さい。本年度は新型コロナ感染症が5類に移 行した事で多くの留学生が入学しましたが、日 本人入学生は少子化等の影響もあり残念なが ら減少が続いております。このような状況下で はありますが、広報・就職支援センターにおい てはこれからも、全学生が進路確定できるよう 産学連携室とも協力しながら、学生に寄り添っ た進路指導を行って参りますので、保護者の皆 様のご協力もお願いいたします。

〈広報・就職支援センター〉

SCHEDULE

令和6年度 前期行事

4/1 - 入学前説明会

4/3 ●オリエンテーション、健康診断(1年生)

1/1 健康診断(2年生)

4/5 新潟科学技術学園合同入学式

4/8~ 前期授業 4/22 学内車検 4/22~5/17 ●近隣ごみ拾い

4/24 防犯講話(新潟西警察署警備課·交通課 様)(1年生)

5/28 自動車技術セミナー(新潟スバル自動車株式会社様)(1年生)

●レースエンジニア講演会(株式会社ルーキーレーシング 東條力 様)(1年生) 6/4 6/8 ■3級 機械保全技能検定(電気系保全作業)実技試験(2年生・電子制御コース)

6/18 ●中古自動車査定士試験(2年生)

6/18 自動車技術セミナー(日産モーター株式会社 様)(1年生)

3級 機械保全技能検定(電気系保全作業)学科試験(2年生・電子制御コース) 6/23

7/9 自動車技術セミナー(太平興業株式会社 様)(1年生)

7/10 NGKスパークプラグ講習会(日本特殊陶業株式会社 様)(2年生) 7/16 自動車技術セミナー(新潟マツダ自動車株式会社 様)(1年生)

7/23 損害保険募集人資格試験(2年生)

7/29~8/2 ●前期定期試験 8/10~9/30 夏期休業

8/28-29 ●ガス溶接技能講習(1年生)

令和6年度後期行事(予定)

9/17~ 二級自動車整備士技能講習会(2年生・自動車技術コース)

9/24~ 後期授業 9/25

電気自動車等の整備業務に係る特別教育(1年生) 10/中旬以降 ●自動車技術セミナー(日産モーター株式会社 様)(1年牛) ●自動車技術セミナー(新潟トヨタ自動車株式会社 様)(1年生)

自動車技術セミナー(SKY GROUP 様)(1年生) 11/21 ●自動車技術セミナー(新潟日野自動車株式会社 様)(1年生) ●OBセミナー(株式会社テック・エンジニアリング様)(1年生) 11/28

●企業セミナー(アルプスアルパイン株式会社 様)(1年生) 12/中旬 ●OBセミナー(県内自動車整備業)(1年生)

12/25~1/5 ●冬期休業

12/5

1/上旬~ ●整備士資格試験対策講習(2年生・自動車技術コース)

●3級 機械保全技能検定(電気系保全作業) 学科試験(2年生・電子制御コース) 1/12

1/26 ●3級シーケンス制御技能検定学科試験(2年生・電子制御コース)

1/22~1/31 後期定期試験 2/ 上旬

3級 シーケンス制御技能検定 実技試験(2年生・電子制御コース)

合同企業説明会(1年生) 2/6

2/中旬 スキーツア-

2/中旬 ●3級機械保全技能検定(電気系保全作業)実技試験(2年生・電子制御コース)

2/17~3/31 春期休業 3/14 - 本業式

3/23 二級自動車整備士登録試験(2年生・自動車技術コース)

令和6年度は、新型コロナウイルスも落ち着きつつのスタートとなりました。 **NEWS** しかしながら、夏前には第11波の予報も出ておりました。学内でも多くは無 いですが感染の報告がちらほらと上がっております。後期に入ると2年生の国家試験対策等 が始まりますので、コロナ感染だけではなくインフルエンザ感染にも気をつけ授業を進めて いきたいと考えております。ご家庭におかれましても今しばらくお気をつけください。



後援会活動および報告

令和6年度後援会評議員会が7月26日に本学で開催され、前年度決算および本年 度活動方針、予算などが了承されました。本年度もこれまでと同様に学生のための課 外活動援助や厚生補導活動援助を中心に積極的支援に努めてまいります。ご理解と ご協力をよろしくお願いいたします。なお、後援会活動状況および新潟工業短期大学 と新潟科学技術学園の情報については次のホームページからもご覧いただけます。

〈新潟工業短期大学後援会に関する情報〉

https://www.niigata-ct.ac.jp/parents/

〈新潟工業短期大学の教育に関する情報〉

https://www.niigata-ct.ac.jp/about/release/

〈新潟科学技術学園の財務に関する情報〉 https://www.niigata-inst-st.ac.jp/publicinfo/about_publicinfo/others/

〈本学HPのURL〉https://www.niigata-ct.ac.jp/





編集発行:新潟工業短期大学後援会

〒950-2076 新潟市西区上新栄町5-13-7 TEL 025-269-3174(代)

FAX 025-268-1222

URL https://www.niigata-ct.ac.jp/